



# CHAPTER 32

## 初期メディア

初期メディア機能は Session Initiation Protocol (SIP) および H.323 コールに対してサポートされています。初期メディアは、コールが実際に確立される前に 2 つのユーザ エージェントが通信を行う機能です。初期メディアに対するサポートは、Public Switched Telephone Network (PSTN; 公衆電話交換網) との相互運用性と課金用途の両方のために重要です。

初期メディアは、コールが正式に接続される前の、メディアの転送を開始する際に定義されます。メディア チャンネルはコールが接続される前にセットアップされます。これらのチャンネルはコール元が聞く呼び出しトーンを提供するために使用され、コール元のエンドポイントまたは他のキューイング サービス (保留中の音楽など) では生成されません。



(注)

ACE SBC Release 3.0.00 では、この機能は統合モデルに限りサポートされます。

### 初期メディア機能の履歴

リリース	変更内容
ACE SBC Release 3.0.00	この機能は、SBC 統合モデルのサポートとともに Cisco 7600 シリーズ ルータに追加されました。

## この章の構成

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「初期メディアのサポートの制約事項」(P.32-1)
- 「初期メディアに関する情報」(P.32-2)

## 初期メディアのサポートの制約事項

次に、初期メディアのサポートの制約事項を示します。

- SBC は、(RFC 3960 の定義に従って) 初期メディアのゲートウェイ モデルをサポートします。
- 初期メディアは、後期の SDP を送信するエンドポイントでは動作しません。
- SBC は現在 RFC 3312 をサポートしていません。

## 初期メディアに関する情報

現在の実装では、183 応答コードを使用した初期メディアをサポートしています。コール先がコール元に初期メディアを送信する場合、コール先はコール元に 183 応答を送信します。この応答には、Session Description Protocol (SDP) が含まれています。コール元がこの応答を受信すると、そのユーザに注意を喚起することを抑制し（呼び出しトーンやポップアップ ウィンドウなど）、受信するメディアの再生を開始します。183 応答の中の SDP には、Real-Time Control Protocol (RTCP) パケットの送信先のアドレスが含まれています。

実装形態によっては、コール元からメディアを取得し、それをコール先にも送信するものがあります。コールが結果的にコール先によって拒否される場合、コール先は 2xx 以外の最終応答を生成します。この応答を受信したコール元は、メディアの再生または送信を停止します。一方、コールがコール先によって受け入れられる場合、コール先は 2xx 応答（通常は 183 応答内と同じ SDP を使用）を生成し、それをコール元に送信します。メディアの送信はそれまでと同じように継続されます。

さらに、SBC は初期メディアに関して次の項目をサポートしています。

- 初期メディアを転送後（コールが接続される前後）のメディアの再ネゴシエーション。メディアの再ネゴシエーションは、SBC 上で PRACK メソッドおよび UPDATE メソッドを使用してサポートされます。
- SIP エンドポイントによるオプションの SIP UPDATE サポート（UPDATE サポートなしの初期メディアを含む）。
- RFC 3312 の前提条件。
- 設定可能な SIP の Required、Supported、および Proxy-Require ヘッダーのサポート。
- Cisco Gateway の非標準 PRACK 動作との相互運用性を可能にする隣接単位フラグ。